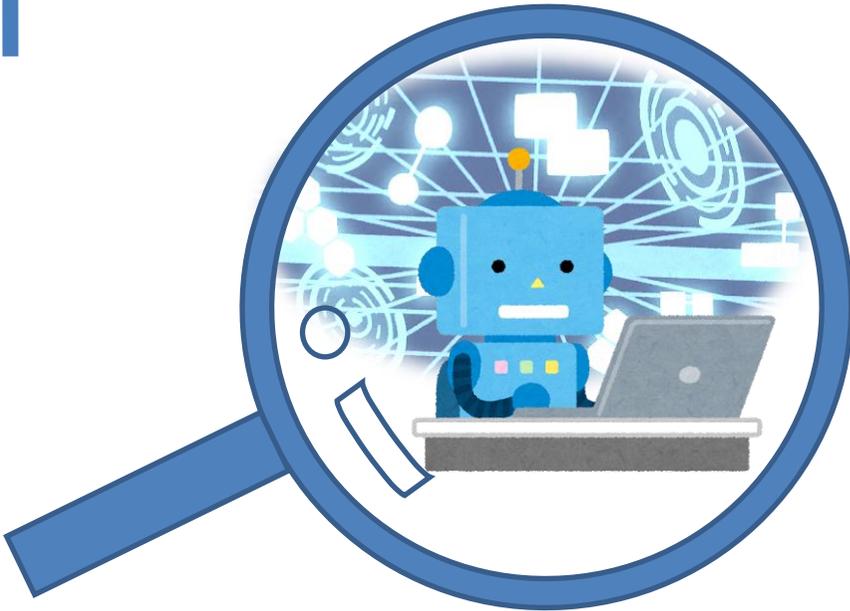


デジタルハカセ への道

図書館で、たくさん調べてハカセになろう！！



本のある場所

- 1 F →こども図書室
- 1Fくま→こども図書室くまもとの本
- 2F Y →ヤングアダルトコーナー
- 2F R →調査相談参考資料コーナー
- 2F →調査相談コーナー
- 2Fくま→2階くまもとの本コーナー
- 3F ☆ →新聞・雑誌コーナー
- 3F 行 →行政資料
- 3F 郷 →郷土資料

熊本県立図書館

2025年3月

1. キーワードをあげてみよう！

インターネット・AI・スマホ・ロボット・SNS など

思いつくまま
なんでも
書いてみて！



2. まずは、図鑑や事典を使って、デジタルの基本的なことを知ろう！

『ポプラディア』（1F／031）

『こども大百科大図解』（1F／031）

『情報技術用語大事典』（2FR／007）

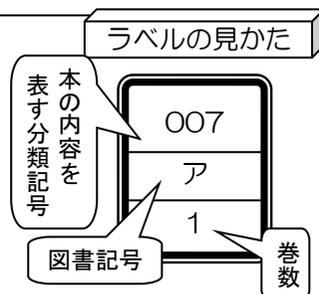
図鑑や事典にない「新しい言葉」を調べるには、こんな本もあるよ！

『現代用語の基礎知識 学習版』（1F／031）

3. 本を探してみよう！

本の背表紙(本棚に並べた時に見える面)に、
「日本十進分類法(NDC)」という規則で分けられた、
3ケタの数字の書かれたラベルがついているよ。
【007】や【54】で始まる本に注目してみよう！

例えばこんな本はどうだろう…



<パソコンやインターネットなどのしくみを調べたいとき>

『小学生でもわかるスマホ&パソコンそもそも事典』(1F／007)

『プログラミングとコンピュータ』(1F／007)

『インターネットのひみつ』(1F／007)

『よくわかる人工知能』(1F／007)

<しくみを利用した技術を調べたいとき>

『データで変わる！産業とくらし 全3巻』(1F／007)

『よくわかる情報通信 歴史から通信のしくみ、IoTまで』(1F／547)

『くらべてわかるロボットと人体のしくみ大研究』(1F／548)

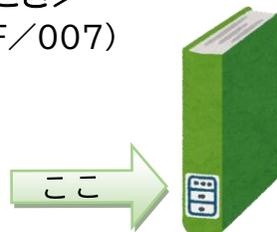
『未来が広がる最新ロボット技術 全3巻』(1F／548)

<デジタルの世界で気を付けたいこと>

『考えよう！話しあおう！ これからの情報モラル 全4巻』(1F／007)

『スマホとゲーム障害 上手に使って病気を防ごう!』(1F／493)

『気をつけよう！ネット中毒 全3巻』(1F／547)



4. 雑誌や新聞で探してみよう！（雑誌・新聞は3F）

新聞・雑誌は情報が新しいところに価値があるよ。

少しむずかしいけれど、カウンターに聞いたりして探してみよう！



子ども新聞・雑誌

※最新号（1F）バックナンバー（3F☆）

「毎日小学生新聞」 「子供の科学」

雑誌（おとなむけ）（3F☆）

「日経パソコン」（内容はむずかしいけれど、最新の情報がのっているよ）

図書館で使える新聞社のデータベース

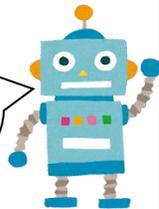
○熊日データベース

○朝日新聞クロスサーチ

主な新聞社の子どもむけホームページ

○ヨミウリ・ジュニア・プレス <https://www.yomiuri.co.jp/teen/junior/>

データベースの
使い方は
カウンターに
聞いてみよう！



5. インターネットやほかの施設で探してみよう！

インターネットで調べものをする時は、

その情報が確かなものかどうかきちんと見極めることがポイント。

例えばこんなホームページ

○総務省 情報通信白書 for KIDs <https://www.soumu.go.jp/hakusho-kids/>

○デジタル庁 GIGA スクール構想^{こうそう}ってなに？

https://www.digital.go.jp/policies/semi_public_sector_education01

○一般財団法人インターネット協会

<https://www.iajapan.org/child/>

- ・図書館のインターネットを使うときは申込みが必要だよ。
- ・図書館では、インターネットHPの印刷はできないから、必要な部分はノートに書き写そう！



6. [くまもと e-books] を使ってみよう！

県立図書館の貸出カードを持っている人は、

電子図書館 [くまもと e-books] を使うことができるよ。

くわしい使い方は県立図書館のホームページを見てみよう！

Step 1 熊本県立図書館のホームページからMyライブラリにログインする

Step 2 電子図書館をひらく

Step 3 気になる本を読む 検索もできるよ



7. 調べ学習をするポイント

◎アテナ(本を探す機械)で探したり、カウンターに聞いたりしてみよう。

◎本の【もくじ】と【さくいん】を使おう！

【もくじ】その本のどこに何が書いてあるかを
前の方にまとめて書いたもの。

【さくいん】その本に出てくる言葉を“あいうえお”順に並べて
まとめたもの。たいてい本の後ろのほうにあるよ。

◎調べ学習をする時に便利な本

『調べるまとめる発表する調べ学習パーフェクトガイド』(1F/375)

『調べるって、おもしろい!!』(1F/375)

『調べ学習の基礎の基礎』(1F/375)

『本のさがし方がわかる事典』(1F/014)

◎インターネットで調べるときの注意点

- ・HPの情報を書きうつすときは、見た(確認した)日付も書いておこう。
- ・1つのHPの情報だけでなく、本やいろんな情報と比べて、それが正しいかどうかを判断しよう！

◎【^{ちよさくけん}著作権】

ほかの人が本(資料)に書いた文章をそのまま写して、
自分の書いた文章のようにしてはいけないよ。

もちろんインターネットのHPにも著作権はあるよ。

◎【^{さんこうぶん}参考文献】

調べるときに使った本(資料)のこと。

調べて考えをまとめるのに使った資料は、きちんと書いておこう。

あとでもう一度探す時にも役に立つよ。

【参考文献】の書き方

著者名(書いた人)「資料の題名」出版社、出版年、〇〇ページ

本の後ろのほうの「^{おくづけ}奥付」を見て、いつ書かれた本か確認しよう！

メモ

